



さあ、日本のせんとくに行こうかねえ (えびす祭り 1月11日)

さかわ

Sakawa

41
2010.2.1

議会だより

12月定例会

contents

目次

高北病院、運営形態を変更 3

解決急げ 柳瀬川水害問題(一般質問) 10~11

本町にあった龍馬自筆の手紙 17

高齢者宅へ火災警報器を (あの質問のゆくえ) 18



サテ山(パラ・フライト 基地)から望む黒岩



地域医療の更なる充実へ向けて

12月補正予算 一般会計

2642万円を

増額補正

12月定例会は、8日より10日までの会期で開かれました。

平成21年の補正予算をはじめ、条例改正など議案12件、諮問2件、同意案1件、議員発議による意見書3件を審議し、採決の結果、賛成全員および賛成多数で全件可決しました。

この中で、4月1日より高北病院の運営形態が変更されることに伴う関係条例等の制定及び改正が行われました。

12月定例会で決まりました

平成21年度12月補正予算

(単位：万円)

会 計 名		補正額	補正後の額
一 般 会 計		2,642	68億9,418
特別会計	国民健康保険	2,774	18億5,694
	介護保険	△37	14億7,094
	後期高齢者医療	△19	1億8,934

条例改正

職員住居手当

一部廃止

高知県人事委員会の勧告に基づき、住居手当の一部廃止や期末勤勉手当の支給率を減じる。

(4月1日施行)
(賛成・全員)

役場の仕事 5時15分までに

高知県人事委員会の勧告に基づき、職員の勤務時間が8時から7時間45分に短縮され、役場は5時15分までとなる。

(4月1日施行)
(賛成・全員)

高北病院

運営形態が変更

地方公営企業法の全部適用を行い、高北病院の運営形態が変更される。

病院に事業管理者を置き、経営責任を明確にするとともに、職員の採用・給与の決定など、管理者に権限を与える。この運営形態の変更に関連した条例の制定や改正を行った。

なお、診療体制などは変わらない。

●地方公営企業法の全部適用とは

財務に関する規定だけでなく、全体を適用する。経営責任を持たせた事業管理者を置き、職員の給与も含めた身分取り扱いなど、人事、予算など全ての権限を与える。

12月補正予算 ピックアップ

景観整備事業

163万円

小公園整備の付帯工事及び虚空蔵山の展望整備を行うもの。



展望整備が行われる虚空蔵山

全国瞬時警報

システム整備事業

1650万円

緊急地震速報など、国が通信衛星を用いて情報発信したものを、町の防災無線システムを使用し、瞬時に住民に周知するもの。

地域活性化

促進住宅の修繕に

1450万円

浄化槽等の整備を行う

期末勤勉手当等の減額

△1893万円

高知県人事委員会の勧告に基づき特別職並びに一般職の給料及び期末勤勉手当の支給率を減じて減額。

新型インフルエンザ

ワクチン接種助成事業

430万円

優先接種対象者のうち、非課税世帯の方を対象に助成するもの。

人 事

人権擁護委員

宇賀 さよ子 氏

佐川町甲1612番地21

種田 快盛 氏

佐川町甲1746番地

教育委員

栗田 眞一 氏

佐川町本郷耕1501番地1

平成22年
第1回臨時会
1月13日開会

人 事

副町長再任

西森 勝仁 氏

佐川町乙2432番地4



物品購入契約締結

平成21年度
佐川町内小中学校教育
用コンピュータシステム導入
事業に伴う物品購入

(契約の方法)

指名競争入札

(契約金額)

6486万6900円

(契約の相手)

四国情報管理センター

株式会社

意見書

国にももの申す

総理大臣をはじめ、
関係機関に意見書を提出

改正貸金業法の
早期完全施行に
関する意見書

(提出者 徳弘初男)

改正貸金業法を早期に
完全施行し、自治体にお
ける多重債務相談体制整
備のため、相談員の人件
費を含む予算を十分確保
するなど、相談窓口の充
実を支援すること。個人
及び中小事業者向けのセ
ーフティネット貸付をさ
らに充実させること。
また、ヤミ金融を徹底
的に摘発することを強く
求める。

(要旨)

(賛成・全員)

子ども達の生
命を守るため、
ヒブワクチン及
び肺炎球菌ワク
チンへの公費助
成、定期接種化
を求める意見書

(提出者 松浦隆起)



おもち、まだかなあ

細菌性髄膜炎の予防に
はヒブワクチン接種が効
果的だが、任意接種であ
るため費用負担が大き
く、公費助成や定期接種
化などの対策が必要だ。

肺炎球菌ワクチンの有効
性、安全性を評価したう
えで、予防接種法を改正
し、ヒブ重症感染症を定
期接種対象疾患に位置付
け、ワクチンの安定供給
のための手立てを講じる
ことを強く求める。

(要旨)

(賛成・全員)

障害者自立支援法
の応益負担の廃止
を求める意見書

(提出者 坂本貞雄)

障害者自立支援法の原
則1割の「応益負担」が、
障害者のサービス利用の
抑制を招き、障害者が人
間として当たり前の生活
をするために必要な支援
を「益」として重い負担
を課せられることに、障
害者や家族から、不安の
声が上がっている。
すべての障害者が人間
らしく生活できるよう、
憲法や国連の「障害者権
利条約」を踏まえた総合
的な福祉法制を確立し、
障害者福祉・医療の拡充
を図るべきであり、障害
者自立支援法の応益負担
の廃止を強く求める。

(要旨)

(賛成・全員)

ヒブワクチン接種の公費助成を

健康福祉課長 すぐという段階ではない

乳幼児の細菌性髄膜炎は年々増加しており、発症者の約5%が亡くなり、25%が重い後遺症に苦しんでいる。これを予防するものがヒブワクチン接種だ。任意接種のため、家計の負担が重く、

その軽減のためと子どもの命を守るため、公的助成を行う自治体が増えている。本町でも行うべきだ。

渡邊健康福祉課長 大変重要な課題だと思っている。ただ、保健福祉に関する様々な施策の充実へ向けての要望があり、優先順位で考えた時、個人の判断にゆだねられている任意接種の予防接種をすぐに公費助成をするという段階ではない。

松浦 隆起 議員



11人が町政を問う

ここが聞きたい

ふるさと寄付金

具体的な用途指定
できるようにすべきだ

町長 こちらから寄付してくれとは言えない

ふるさと納税として本町で行っている「ふるさと寄付金」をまちづくり活性化の一助になり、寄付する人の希望が反映できるように、具体的な用途を指定して行えるようにするべきだ。

榎並谷町長 浄財を外から求めて行政を豊かにすることは大事なことです。

ただ、ふるさと納税そのものについての考え方が違うので、こちらから寄付をしてくれとはなかなか言いにくいと思っています。



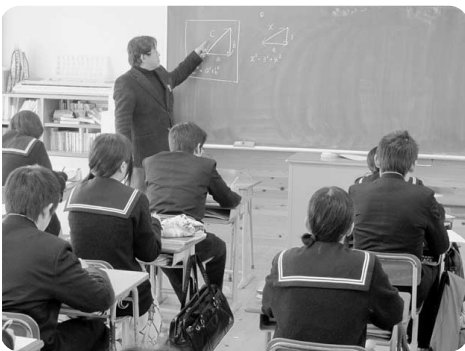
元気でずくずくと

聴講生制度の導入を

教育長 研究進め、検討したい

高齢者の方や再教育を受けたい人などが小・中学校の授業に参加する聴講生制度がある。高齢者の生きがいづくりとともに学校現場でのいじめ防止対策にもなると言われている。本町でも取り入れるべきだ。

藤田教育長 聴講生が勉強をしながら、多くの子どもに影響を与えるという点からも聴講生制度は大事な点だと考える。本町でできないことはないと考えており、学校現場との共通理解も必要であり、そういったことも踏まえ、開かれた学校づくりのひとつとして研究を進め、町全体を考えながら検討したい。



開かれた学校づくりへ向けて

2期目の具体的公約示せ

町長 1期目の5つの柱、持続



氏原 義幸 議員

榎並谷町長 1期目に掲げた5つの柱の中で達成したものもあるが、これを持続しながら町の行政を運営していくのが2期目の選挙公約だ。

町長は1期目の出馬に11項目と、多くの公約を掲げ当選した。しかし、2期目については、1期目で達成した60%の後の分を達成したい、とされているが、具体的なことは示されていない。1期目は①人づくり②高齢者が安心して住めるまちづくり③産業振興④町財政の健全化⑤自然と共生するまちづくりなど5つの柱を掲げていた。2期目の政治姿勢は。



有効利用が求められる旧佐川中学校

佐中建設事業

旧佐川中の利用方法は

町長 議論重ね、今後検討する

旧佐川中学校の利用方法は決まったが。取り壊した場合の跡地利用は。町民の中に、春日荘のような施設を作ってもらいたいとの声がある。春日荘を含めて、ほかの施設の入所待ちの人が100人以上いる。

岩本教育次長 旧佐川中学校は、中学校移転改築時に、危険建物または不適格建物として改築の対象になった建物であり、改築工事の完成とともに原則として速やかに取り壊すことになっている。

榎並谷町長 跡地利用は、まだ決定していない。福祉施設との指摘もあるが、議論を重ねて今後決定したい。

町営住宅



子どもたちの声が聞こえる尾川の町営住宅

斗賀野地区に建設を

町長 ニーズを把握し検討する

斗賀野地区にも町営住宅の建設をとの声が多くある。尾川、黒岩地区のような若者定住住宅との声もある。小学校、保育所もあり、環境も良い。建設できないか。

榎並谷町長 町営住宅建設はニーズが確立していないとできない。今後については、明確に把握した上で、検討したい。

その他の質問
○ 民主党に政権が変わり、本町への財政や事業への影響は。



今橋 寿子 議員

2期目の榎並谷町政のスタートに「対話」と「実行」を掲げている。自然と共生でき、環境に優しい、子どもから高齢者まで安心して住める佐川町を目指していくと表明されている。町民との対話と実行をどのようにするのか。知事のように行う予定はないか。

町政運営

対話と実行、どうする

町長 今の時代に即し、実行

榎並谷町長 あらゆる場所と呼ばれ、声も吸い上げ、対話もできている。具体的に部落に出て行き、計画的に行うことは、今は考えていない。4年間担当した中で、私なりの声の吸い上げ方があると考えている。4年前に掲げた政策を、今の時代に即して、実行していく。



子どもたちのために、採れたての野菜を

食育

食育基本計画の策定しているか

教育長 教育振興計画の中に含めたい

給食センターにおいて地産地消はどのように取り組んでいるか。佐川町としての食育基本計画は策定しているのか。藤田教育長 食育基本法に基づいた計画は、策定していない。高知県としては、教育振興計画を策定し、それに基づき各市町村が市町村並みの計画を立てるように義務付けられている。その中に食育を含めていく方向で、22年度中に完成したい。給食センターの地産地消は、生産者と定期的に話し合い、産業建設課との連携もとっていく必要がある。

地方公営企業法全部適用まで、あと3カ月となったが、事業管理者は決定しているのか。事務局長としての人材は育っているのか。また、全部適用後の職員の人事評価はどうしていくのか。榎並谷町長 事業管理者予定者には、内諾をもらっている。事務局長はこれからの課題として取り組む。

その他の質問
○ 10月の町議選の最低の投票率の原因を執行部はどう分析しているのか。

戸梶病院事務局長 人事評価の導入は必要であり、今年度試行を実施して22年度から導入する予定。

町長 内諾を得ている

事業管理者は決定しているか

高北病院



健全運営を支える病院事務局

町政運営に生かせ

町長 計画に沿った予算編成行う



森 正彦 議員

ものとする。行政改革を進める中で町民との協働の成果が上がっている。協働を進める組織への支援は県の地域支援員や緑の協力隊で実施している。今後は効率の良い支援体制というものを確立していく。

第4次佐川町総合計画

を柱として町政運営をしていくべきだ。計画の中のキーワードは町民との協働だ。

特に地域づくりの住民組織は町の活性化には不可欠だ。人的支援を含めた体制を整備すべきだ。

榎並谷町長 大変身近な従来にない総合計画が策定されている。当然生かすべきであり、予算編成についても計画に沿った

子育て支援対策

子育て最適の町宣言を

町長 宣言するにはまだ不十分



親子のオアシス すくすく広場

佐川町の重点課題は人口減少問題だ。町の活力を失う大きな要因となる。その対策として若者の定住がある。その具体策として「子育て最適の町宣言」を行い、関連施策の整備へつなげていけばよい。町民に分かりやすい施策を掲げる意味でも宣言すべきだ。

災害の際、職員は全員役場へ集合となっているが、大災害の場合、地区での対策が重要だ。地区での消防団との連携による救助活動や情報収集が重要であり、そのような体制とすべきだ。

町長 危機管理体制の見直し検討

災害時の地区での対策重要

防災対策

また、防災無線で双方向に使用可能な子局の存在の周知がされてなく、使用訓練を一度もしていない。早急に訓練すべきだ。自主防災組織も重要な課題であり、積極的に取り組むべきだ。

榎並谷町長 南海大地震への対策は重要項目であり、行政として防災や減災に取り組む必要がある。危機管理体制の見直しは消防団との連携を含め十分慎重に検討したい。



周知が必要な防災無線子局

町有地の活用計画示せ

町長 有効に活用する

6月定例会での質問の折に、総務課長より「売却可能な土地は一括して売却したい」との答弁があった。若草保育園前の中組団地の駐車場、その他3件の活用計画はどのようなになっているのか。

味元総務課長 若草保育園の駐車場は、準備が整っておらず売却の公告も出していない。上郷の新福寺は準備は整っているが、地元の合意を得なければならぬ。保健所裏の一角は売却を行った。

旧の富士見町のゲートボール跡地は売却の準備は整っている。

榎並谷町長 必要のない、使われていないものについては早く処分するが、有効に活用できるものを急いで売るところまで、町財政は困っていない。

町道荷稻線

加茂まで延長すべきだ

町長 単独での整備厳しい

尾崎県政は産業振興に最も力を入れ、道路の1.5車線化の整備拡大にも取り組んでいる。県に対して調査費をつけてもらえるよう、陳情並びに要望を全庁挙げて行なうべきだ。全国的にも行き止まりの道はない。加茂まで延長すべきだ。

榎並谷町長 町道として、町単独での整備は大変厳しい。ひとつの提案として、今の県道の岩目地西佐川停車場線を町道に、今の荷稻線を県道に昇格してもらい、県に整備してもらえよう4年間要求を続けている。今後もしも粘り強く、県に要望していく。

町マイクログラス



この道が加茂へつながれば...

維持管理は

総務課長 法定点検行っている

町のマイクログラスは平成5年に登録され16年間活躍した。利用回数、維持管理、定期点検、専属の運転手の人数は。

専属の運転手は決めている。シルバー人材センター等の慣れた運転手に頼んでいる。

味元総務課長 本年度、この4月から現在まで54事業で述べ63日使用されており、法定点検等、毎回点検を行っている。



徳弘 初男 議員



遊休地の活用が求められている

具体的な計画あるか

産業建設課長 国・県へ要望活動行う



片岡 勝一 議員

柳瀬川改修は、上・中流域ともに終了しているが、仁淀川との合流点付近は、毎年のように洪水の被害にあっている。具体的な計画はあるのか。

渡辺産業建設課長 昭和50、51年の大災害に河川の被災区域として黒岩の上流域である佐川地区、尾川地区が河川改修されている。しかし、黒岩地区は被災エリアとなっておらず、現在に至っている。当時は、関係地権者

の協力がなかなか得られず、ほ場整備さえできない状態であった。

近年になり、農業をはじめ河川改修に対する住民の意識が当時と比べものにならないほど高揚している。この機運をさらに発展させ、地域住民と一体となり学習会、国、県への要望活動等を粘り強く取り組んでいく。

柳瀬川水害問題

町営住宅

尾川、黒岩、加茂地区へ建設を

町長 現状では整備しにくい

尾川、黒岩、加茂地区など土地の安価な場所に町営住宅を建てることにより地域活性化が図れる。これらの地区は、町中心部より地価が安く建てやすい。入居する人が増えることによりすべてが潤うことになる。ぜひ建てるべきだ。

榎並谷町長 あるに越したことはないが、現状では整備しにくい。当然、ニーズ調査はする考えであり、運営についても、皆様の意見も踏まえて将来に期したい。

下水道事業

暫定使用方法示せ

産業建設課長 事業をどうするのか協議する

西佐川駅東にある、下水道最終処分場予定地は荒地地となっている。暫定使用の方法など、これからの利用方法を示せ。

渡辺産業建設課長 下水道事業を何十億もかけて再開することは極めて厳

しい状況だ。仮に事業の廃止となった場合、予定地の有効利用を検討しなければならぬ。来年度以降、具体的に下水道事業をどうするのか協議しなければならない。



遊ばせるのはもったいない

本気で進展させるべきだ

町長 力を抜かず

国・県に粘り強く要望する

黒岩の住民は幾度となく署名運動等を行い、水害対策を陳情してきた。水害対策の事務局に専任職員を配置し、本気で進展させるべきだ。

榎並谷町長 協議会や期成同盟会の事務局を役場内におくことは当然だが、専任を置くのは無理がある。しかし、すぐに成果を上げることが厳しいとは思いますが、行政が力を抜くことなく国、県に働きかけて、粘り強く要望していく。

中村 卓司 議員



商工業振興

道の駅作れ

町長 検討しなければならない問題

佐川町の商工業発展のために、道の駅を作つてはどうか。そのための、検討委員会、プロジェクトチームなど担当部署を作るべきだ。

榎並谷町長 地場産業を生かした、地域興しは当然考えなくてはならないと思つてゐる。余り時間をかけても意味がないが、JAコスモスや地域の商店とも一緒になり、じっくり検討しなければならぬ問題であり、基本的にはきちつとした準備をして進めたいと思つてゐる。

解決急げ

町民に負担強い、やめるべきだ

町長 存続願う

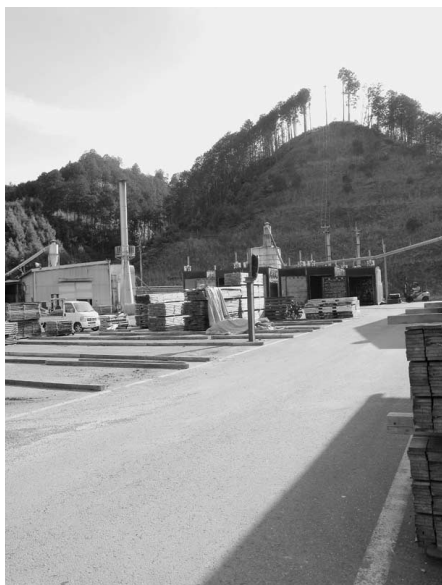
ソニアを存続させるために、「高吾北広域ふるさと市町村圏基金」の利息2300万円や、基金そのものを取り崩し、今後も営業を続けようとしているが、これでは町民に今後も負担を強いることになる。やめるべきだ。

榎並谷町長 3町で出資した会社であるので、私がここでやめるとはいえない。県の支援もいただけるので、個人的には存続を願っている。

その他の質問

○ 龍馬伝に関して佐川町としてどう取り組むのか。

○ 佐川高校に野球部を作つてはどうか。



結論を急ぐべきだ

避難支援プランの中身は

健康福祉課長 高齢者の安心生活目指す

藤原 健祐 議員



高齢者施策の指針として、佐川町高齢者福祉計画、介護保険事業計画がある。その中に高齢者の暮らしや介護に関わる実態と意識という項目があり、アンケート結果が記載されている。

平成21年4月現在の町の本町の独居老人の数は、500人を超えており、多くの高齢者が一人で暮らしをしていると思われる。生活の不安点として「緊急時の通報手段や連絡体制」をあげる人が非常に多いという調査結果も出ている。

こういった緊急時の通報手段や連絡体制を整備するためには、健康福祉課や社会福祉協議会だけでなく、総務課や高吉北広域事務組合との連携が必要不可欠だ。最近、避難支援プランとして健康福祉課、総務課、社会福祉協議会が連絡協議会のよつな会を立ち上げたと言っているが、こういった活動をしているのか。

渡邊健康福祉課長 高齢者の方が安心して生活するひとつの手段として、緊急時の体制作りが、昨年立てた緊急時災害計画プランに出ている。そこで、今年から、縦割りではなく横断的に危機管理室、社会福祉協議会、健康福祉課で、「独居老人の訪問、9月定例会で質問のあった緊急時のカプセル」などを含め、今まで行ってきたことと新しい

ことをどうつなげ、行っているのか話し合いをしている。来年度にはその成果を報告できるように検討したい。



100歳めざして いち、に、さん

高齢者施策

高齢者の見守りに携帯電話利用せよ

町長 導入に向け検討したい

携帯電話を使用した「大豊町見守りネットワーク事業」方式がある。自治体が、希望する高齢者に携帯電話を配布し、24時間365日サポートし、GPS機能により、徘徊や出先で倒れたりしても、位置確認ができ、ボタンひとつで、あらかじめ指定している連絡先、家族に通報することができる機能があり「高齢者にとっても、家族にとっても、安心安全」と大変喜ばれている事業だ。ぜひ、本町でも導入すべきだ。

榎並谷町長 最先端技術が、どんどん進んでおり、これを有効に使う手立ては絶対必要と考える。議会の皆さん、専門家の意見も聞いて、ぜひ、導入に向けて検討していきたい。

防火対策

尾川・高平地区へ消火栓設置を

町長 防火水槽設置で対応願いたい

下郷・高平地区は、一カ所消火栓があるが、十分ではない。柳瀬川からかなりの距離がある。下郷、高平公民館より約500m佐川側に上水道の消火栓が設置されている。この水道を消火栓用として延長できないか。

味元総務課長 集落、戸数からいえば消火栓が一カ所では不足している。

ただ、水道管500m延長するには、1300万円の費用がかかり、費用対効果の面から見て、

必要かどうか考えざるをえない。

榎並谷町長 各地域では、防火水槽で十分に役立っており、消火栓だけのために水道管の延長は厳しいものがある。防火水槽設置で対応を願いたい。

介護保険事業

住宅改修工事は町内業者で

健康福祉課長 業者の増加に向け研修会開催

介護保険事業での住宅改修、介護器具取りつけなどの年間件数と参加している町内・町外業者はどれくらいいるのか。

できるだけ町内業者が工事ができるようなシステムにすべきだ。

渡邊健康福祉課長 町内の住宅改修業者は13社で、20年度の工事件数は103件。町外は6社だが、特定福祉用具販売の基準が制定されており、その基準に基づき、県の指定を受けた事業者が販売することができ、町内にはその事業者がない。そのため、福祉用具と住宅改修の両方が必要になる場合は、町外業者になっている。

住宅改修業者の数が増えるように来年度に向けて勉強会、事務の方法等の研修会を開催していきたいと思っている。

尾川小中一貫校

来年度に結論を出すべきだ

教育長 3月までに結論を出す

教育一貫校の問題について、21年3月定例会において教育長は、「地域教育推進協議会の組織ではなく、尾川中心としたいろいろな人の要請を受けるため、そういった組織を立ち上げる必要があり、21年度にはそういったことを解決して結論を出す」との答弁であった。腰が上がるのが遅すぎる。来年度には結論を出すべきだ。

藤田教育長 5月と8月にPTAを中心とした会で話し合いをもってもらった。18年度の委員会のアンケートでは、民意が十分つかみきれていないということ、もう一度PTAがアンケートを取り直し、その結果が1月中には集計ができる。PTA会長の話では、その



結果を踏まえ現在は、PTA中心だが地域の有識者も交え尾川としての方向性を出したい、とのことだ。教育委員会としてその結果を受け、小中一貫校にもっていくかどうかについて慎重に対応をとりながら、3月までの間に委員会としての結論を出す。大変に遅れており、その点については申し訳なく思っている。



岡村 統正 議員



消火栓設置が求められている高平地区



松本 正人 議員

職員労働条件

改定時には交渉内容を示せ

町長 事あるたびに報告する

給与の改定について、町には人事院がなく、県の勧告をそのまま採用している。その県は国の人事院勧告に基づいているのが実態だ。国の事情と地方とは異なる。議会に給与改正条例の決議権があるが、雇用主

は町長だ。町長と労働組合との協議の内容を議会は尊重すべきだ。したがって、給与等、職員の労働条件改定についての議案提出時には、協議の内容を議会に示すべきだ。

榎並谷町長 本町に人事委員会を置くことは理想だが、現実的には困難だ。そのため、県の人事委員会の勧告に従っている。労働組合との協議内容については事あるたびに報告する。

町営住宅

選考委員に議員が含まれるのはおかしい

町長 そういう認識はない

町営住宅の入居希望者の選考は町営住宅入居者選考委員会が行っている。その選考委員は町長の選任で決められるが、その中に2人の町会議員がいることを最近知った。四万十町や須崎市では近年になって議員自身からおかしいという話になり、全員一致で選考委員に議員を含むことをやめている。本町も見直すべきだ。



入居条件に基づき公平な選考が行われている

榎並谷町長 選考委員会は、公平に運営されていると認識している。

選考委員に議員が入って具合が悪いとの認識はなく、長い間やっていることなので、寝耳に水だ。

医療費無料化

中学卒業まで拡大せよ

町長 少子化対策としては異論がある

今年10月から小学校卒業までの医療費無料化が実施された。義務教育は子どもの教育を受ける権利を守る義務が大人に課せられているもので、「義務教育は無償とする」というのが本来の姿だ。子どもの病気についてはどの家庭の子も必要な医療が受けられるようにするべきで、医療費無料化を中学卒業まで拡大すべき。財政的にもそんなに大きな負担にならないはずだ。

榎並谷町長 子どもの医療費の無料化は少子化対策の一環として取り組んでおり、中学生までとなると異論がある。義務教育での医療費の無料化を少子化対策とするには、考え方として若干ずれがある。

その他の質問

○ ソニアの今後について具体策は考え出されただか。



坂本 貞雄 議員

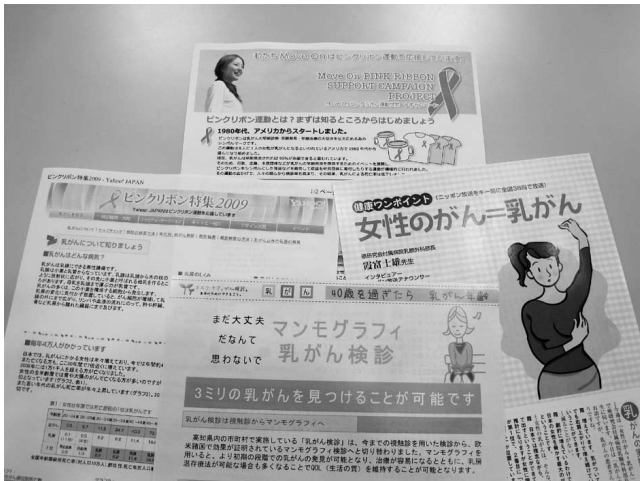
がん対策事業の一環として、がんの予防・早期発見のための啓発活動として、ピンクリボン運動が取り組まれている。本町ではどう取り組んでいるのか。

女性のがん対策

乳がん検診毎年実施できないか

健康福祉課長 自己検診も必要

また、乳がんの検診は2年に1回だが、早期発見のため、毎年検診にできないか。
渡邊健康福祉課長 ピンクリボン運動の特別の取り組みはしていない。ただ、早期発見が重要であるため、従来から啓発活動は行っている。2年に1回の検診だけでなく、自身で触診をする自己検診の必要性を検診会場で説明している。さらに啓発活動に取り組んでいき



乳ガン早期発見のために検診を

新型インフルエンザ対策

短期証を発行すべき

町民課長 国保法に抵触する恐れがある

新型インフルエンザは早期治療が蔓延を防ぐといわれている。国保料の滞納で資格証明書を発行された方が受診遅れとなることのないよう、6カ月の短期証を発行すべきだ。
藤本町民課長 短期証の一律発行は国保法に抵触する恐れがあり、課税の公平性のことから難しい。

林業振興

森林をどう守るか

町長 国策として振興すべきだ

森林資源は再生可能な資源として、二酸化炭素削減に重要な役割を果たしている。林業を基点とする木材産業は製材・合板・住宅・バイオマス等、すそ野が広く林業振興の観点からも、森林を守る町政の位置づけと取り組みを示せ。
榎並谷町長 木材産業の振興を国策として図るべき時期に来たと思っている。

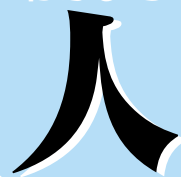
○ 後期高齢者医療制度による短期保険証の発行状況は。

けは、第4次佐川町総合計画の中で、従前の分野だけでなく、新たに環境への取り組みとして加えられている。21年から25年度に新たに森林整備事業計画を定め、5年間で609ha、年約120haの間伐をすることとしている。



手入れをすることで山は守られる

わがまち



わがまち「人」では、この佐川のまちで元気に活躍されている方にスポットをあて紹介します。

今回は、尾川子供会ソフトボールクラブ監督の西森利信さんにお話を伺いました。



西森 利信 さん



この1球に全力をかけて

尾川子供会ソフトボールクラブ

― 子供会の監督になられて何年になられますか。

もう随分長くなります。保護者の方々のご協力があり、はや今年で26年になります。

― 今、子どもたちは何人在籍していますか。その構成は小学何年生からでしょうか。また他の地区から入っていますか。

現在、尾川を中心に19名、小学2年生から6年生までです。

佐川といの町から6名来ています。尾川のソフトボールチームに入りたい、という子どもが来ており、友達を誘ってくれています。

― 年間の試合数は何試合くらいありますか。

2月末から、12月の始めまであり、年間で25試合くらいあります。

今までJAコスモス杯で優勝していますが、他にも、準優勝など上位の成績を残しています。

― 尾川に若木杯という大会がありますが、歴史はどれくらいですか、また参加するチームの数は。

補助グラウンド完成記念に大会を開催してはということでできました。今年で21年になります。北川村を始め、県内各地から16チームの参加が毎年あり、歴史を重ねて重要な大会の一つになっています。

― 一番ご苦労をされていること、また、喜びを感じるときは。

苦勞を感じたことはないですね。子どもたちに接していることが楽しく、また子どもたちの笑顔を見るのが一番喜びを感じるときですね。

― 最後に今後に向けて一言お聞かせください。

子どもたちがソフトボールを好きになるよう



に、地域の方々とのつながりを深めながら一緒にあって 子どもたちに接していきたいと思っています。

― ありがとうございます。今後子どもたちのために指導を続けてください。

あなたの周りに、人知れず「佐川のまち」の元氣のために活躍されている「人」をぜひ、ご紹介下さい。

ご連絡は議会事務局まで。

♡佐川に恋して♡

佐川町へのラブレター

■仕事は楽しいですか。

妊娠・出生手続き、赤ちゃん訪問など、幸せなときに立ち会うことも多く、皆さんに幸せをお分けしてもらいながら、楽しく仕事をしています。

■これからの夢は。

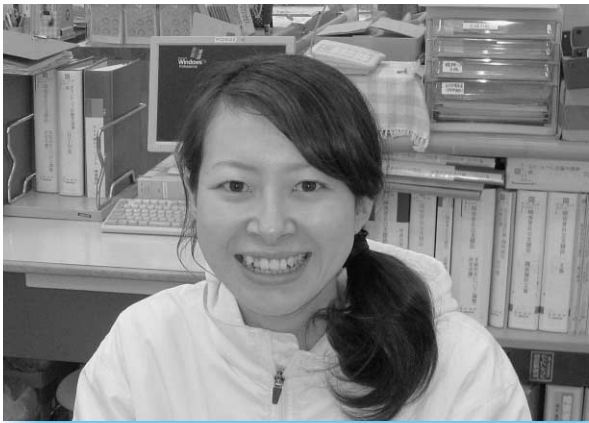
住民の皆さんが「頼もしい」と思えるような保健師を目指したいと思っています。

■佐川町のどんなところが好きですか。

自然が豊かなところがいちばんの魅力です。犬の散歩をしているときに、実家周辺の景色をぼんやり眺めるだけで心が癒されます。

■佐川町や議会に望むことはありますか。

人は病気や障害を持っても、自分なりの健康を保つことができます。それには「生きがい」を持つことが大切です。佐川町の皆さんが生きがいを持って暮らせるような活気あるまちづくりを望んでいます。



むらた まゆみ
村田 真弓 さん

とても優しい印象の真弓さんでした。大変なお仕事ですが、これからがんばってください。

坂本龍馬、再び

「龍馬伝」の好機 本町はどう生かせるのか

— 本町にもあった「坂本龍馬 自筆の手紙」 —

1月3日、ついに大河ドラマ「龍馬伝」の放送が始まった。高知県にとつて、待ちに待った瞬間だ。一昨年の6月に、「2010年の大河ドラマは坂本龍馬の生涯を描く」との発表があつて以来、ほぼ1年半待ち続けた瞬間でもあった。

高知県にとつて観光行政は重要な取り組みのひとつであり、その意味でも大きなチャンス到来となった。1月16日からは県内4会場において「土佐龍馬であい博」が開催されており、高知県の観光を盛り上げる取り組みが始まった。

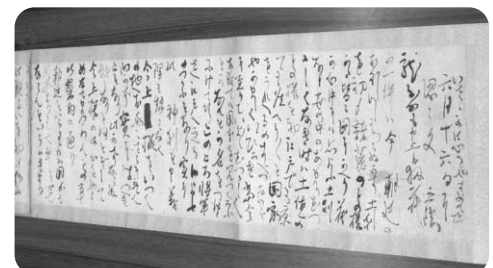


個人所蔵の龍馬自筆の手紙

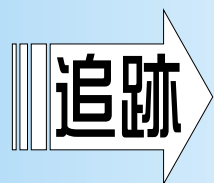
今、龍馬に少しでもゆかりのある町は、わが町の観光に生かそうと、様々な工夫を凝らしている。

本町の青山文庫には、坂本龍馬自筆の手紙が所蔵されている。また、町内の個人宅にも、同じく自筆の手紙が所蔵されている。このことは、町民の中でも知らない方も多いのではないかな。

今、本町では、上町を中心として、観光行政に力を入れようとしている。どこの自治体にもあるものではない、「坂本龍馬自筆の手紙」という、本町の宝を、ぜひ生かしてもらいたいものだ。



青山文庫所蔵



あれはどうなったが？

あの質問のゆくえ

No.12



消防団員が設置を行っている

要援護者住宅への火災警報器の設置状況は

(平成20年3月定例会)

就寝中の火災で、逃げ遅れての死亡例がある。犠牲になる方が7割、その内の約6割が高齢者と身体の不自由な方だ。平成16年の消防法改正で火災警報器の設置が義務化された。本町の設置状況は。また補助金制度は可能か。

(岡村統正 議員)

健康福祉課長 答 弁

高齢者・障害者宅に設置

65歳以上の高齢者のみの世帯、障害者の方など災害時要援護世帯を対象に煙感知式住宅用火災警報器の配布・設置を行う。(11月1日より順次配布)なお、すでに設置済みの世帯は対象とならない。

どう
なった

周知し勧めていきたい

1人暮らしの高齢者、避難が著しく困難な障害者で設置を希望される方に、生活用具給付事業で助成を行い、現在10台設置している。今後、火災発生に備え、周知を図り設置を勧めていきたい。

あなたが選んだ議員の
仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は3月9日午前9時開会
予定です。傍聴においでください。

議会広報編集委員会

※わかりやすい紙面に心がけています。
読後のご感想、ご意見をお寄せください。

委員長	岡村 統正
副委員長	坂本 貞雄
委員	松浦 隆起
委員	片岡 勝一
委員	森 正彦

2009年の漢字は「新」でした。国民が最も注目しているのは民主党の「新」政権でしょう。最近その「新」の鳩山総理が惑いに惑っているとマスコミがかしましい。半世紀も続いた政権が「新」になったのです。幕末にも見られたように、世の中、そう簡単に変わるものではありません。試行錯誤があるのは当然です。しかし、一国の首相がいつまでも国の進むべき道に迷い、方向性を示せないようでは、我々国民のほうが大いに惑ってしまいます。

2010年の漢字が、迷走する鳩山総理をさらに惑わす「経済」「基地」「献金」の3Kにならないよう、真に国民のために、決断力と行動力を示してもらいたいものです。

その行動力を発揮した維新回轉の英雄が坂本龍馬です。今年はその「龍馬」と高知が注目されています。惑うことなく、日本を変えるために駆け抜けた「龍馬」とともに高知の注目度が上がることを期待しています。

坂本

編集後記